

平成27年11月1日
丸和精光株式会社

仕事と介護の両立支援事業実態把握調査アンケート結果と対策

(アンケート結果)

介護に直面している社員はまだ少ないものの、今後本人を含め、配偶者や親族が介護に直面する可能性があり、社員の6割強が介護に対して不安を感じている。

不安に思う内容は、介護保険制度の仕組みがわからないことや、相談対応者がいないこと、将来の見通しが立たないことが挙げられ、介護をしながらも仕事を続けられると感じている社員は2割に満たない一方で、介護休業制度や社内支援制度、有給休暇など何らかの制度を利用して、介護と仕事を両立しての働き方を望ましいと思う社員が8割以上となっている。

介護に不安はあるものの、介護保険制度や公的介護制度の内容を理解している社員は少なく、更に職場の支援制度等については制度の存在すら知らない社員が半数近くに上ることや、業務に関して残業が日常的となっていること、希望通りに年次有給休暇が取得できていない社員が4割強存在すること等が実態として浮き彫りとなった。

(今後の対策)

社員の介護に対する不安の払拭し、社員の介護支援のニーズに対応した仕組みを構築し、社員が安心して業務を遂行できる職場環境を整えるべく以下の取り組みを進める。

1. 介護相談員の設置と社内周知
2. 公的介護制度を理解、内容を確認するための資料の配布や研修等
3. 育児介護休業規程の周知と社内支援制度の見直し及び制度利用の具体的な手続きの明示化
4. 上司や同僚間でコミュニケーションの改善